

令和7年度防災対応力の強化について

1 防災備蓄倉庫備蓄品の再配置及び広域防災備蓄倉庫の設置

(1) 概要

これまで倉庫単体で管理していた備蓄物資をエリア単位で管理することにより、物資等を補完しあうとともに輸送体制の効率化を図るため、防災備蓄倉庫備蓄品の再配置を行う。また、災害時の備蓄倉庫被災リスクを分散化するため、連携都市である茨城県筑西市に広域防災備蓄倉庫を設置するほか、姉妹都市等からの支援物資を一時的に受入れる拠点としても活用する。

(2) 主な内容

【備蓄品再配置】

- ・ 発災初日（すぐ）に必要とする備蓄品を避難所防災備蓄倉庫へ配置（43箇所）
- ・ 発災2日目以降の備蓄品をエリア単位で再配置（18箇所）

【広域備蓄倉庫】

- ・ 設置数：2基（48.2㎡）
- ・ 備蓄物資：食料／約20,000食 水／約13,000本（2ℓボトル）

(3) 予算額（案）

39,855千円

(4) 今後の予定

【備蓄品再配置】 令和7年4月～ 事業実施

【広域備蓄倉庫】 令和7年6月～ 倉庫設置

2 災害時トイレ確保・管理指針の策定

(1) 概要

災害発生時からの各フェーズの状況に応じた各種災害時トイレの特徴や役割、使用方法などを取りまとめた「台東区災害時トイレ確保・管理指針」を策定する。

(2) 主な内容

- ・ 区内災害時トイレの現状等
- ・ 災害時における各種トイレの特徴・役割や利用等の考え方
- ・ 災害時トイレの確保・使用方法・管理・環境改善策など
- ・ 災害時トイレの普及・啓発
- ・ 常設トイレの利用確認マニュアル及び解説動画の作成

(3) 意見聴取

災害時に配慮を必要とする方々から同指針の素案等に対して意見を聴取するため
関係団体（障害者団体、福祉施設、日本語学校など）等へヒアリング調査等を行う。

(4) 予算額（案）

8, 822千円

(5) 今後の予定

令和7年	5月	防災会議
	8月～	関係団体等へ意見聴取実施
	第4回定例会	環境・安全安心特別委員会（中間報告）
	12月	パブリックコメント実施
令和8年	1月	防災会議
	第1回定例会	環境・安全安心特別委員会（最終報告）
	3月	台東区災害時トイレ確保・管理指針策定

3 浅草地区の帰宅困難者対策

(1) 概要

上野地区では、都のターミナル駅前滞留者対策を受け設置している「上野駅前滞留者対策推進協議会」において、「上野駅周辺エリア防災計画」を策定し、対策に取り組んでいる。

浅草地区についても、観光地として来街者が多く、災害時に多くの帰宅困難者が出る
ことが見込まれるため、新たに区独自で「浅草地区帰宅困難者対策推進協議会」を立ち上げ、
「浅草地区帰宅困難者避難誘導指針」の策定に向けた検討を行っていく。

(2) 主な内容

- ・浅草地区帰宅困難者対策推進協議会の設立
- ・避難場所への誘導等を検討・協議
- ・浅草地区帰宅困難者対応訓練の実施

(3) 予算額（案）

9, 513千円

(4) 今後の予定

令和7年	5月～	浅草地区帰宅困難者対策推進協議会設置
		防災会議
	11月	図上訓練実施
令和8年	1月	防災会議
	3月	浅草地区帰宅困難者避難誘導指針素案 ※同指針の策定(令和8年度)